２．開会挨拶

－－－

開会挨拶

環境省水・大気環境局自動車環境対策課長
金丸康夫

ただ今ご紹介いただきました、環境省自動車環境対策課長をしております、金丸と申します。

本日は、お忙しい中、多数の方にこのＥＳＴ普及推進フォーラムにご参加いただきまして、誠にありがとうございます。

ご承知のように、ＥＳＴモデル事業は、事業の発足以来、全国各地の自治体を初め、関係の皆さま方のご尽力により、着実に推進されておりまして、この場をお借りいたしまして、厚く御礼を申し上げます。

このＥＳＴモデル事業は、一昨年４月に閣議決定されました、京都議定書の目標達成計画において、推進すべき事業として、位置づけられておりまして、京都議定書の遵守、2008年から2012年の温室効果ガス削減目標の達成を目指す活動と、それの一環として実施しているものでございます。

環境省では、国土交通省、警察庁と連携いたしまして、本事業を実施しているところでございますが、ＥＳＴを着実に推進するためには、国民一人ひとりがそれぞれの置かれた状況のもとで、より環境に優しい交通手段を選択していく、そのような意識をもっていただくということが重要であり、普及啓発活動が必要であると考えているところでございます。

このため、環境省といたしましては、各モデル地域における交通利用者のＥＳＴに関する意識の啓発。フォーラムの実施を行うことで、ＥＳＴの普及啓発というようなことを行っているところでございます。

また、最近ではこのＥＳＴの活動は、アジア地域において広がりを持ちつつございまして、ＥＳＴのアジア地域において共通化された活動とすべく、一昨年８月に名古屋におきまして、第１回の国際会議が開かれたところでございます。

また昨年の12月にはインドネシアにおいて、第２回の会議を開催したところでございまして、更に、この４月には京都におきまして、アジアの市長による、環境的に持続可能な交通に関する国際会議というようなものを開催することといたしております。

都市交通が環境に与える影響ということは、アジア諸国の共通の課題でございまして、このような面からの国際協力も進めてきているというところでございます。

本日のフォーラムは、ＥＳＴの活動を更に推進していく、大変よい機会になると考えております。主催者でございます、環境的に持続可能な交通普及委員会を運営されております、財団法人交通エコロジーモビリティ財団をはじめといたしまして、関係の皆さま方のご尽力に感謝申し上げ、簡単ではございますが私のご挨拶とさせていただきます。

本日はどうぞよろしくお願い申し上げます。